



2022年 8月31日

日本鉄道労働組合連合会

J R グループ 労組連絡会 第 30 回 総会

次代を見据え、将来に希望が持てるJRグループを創造しよう！

J R グループ 労組連絡会は 8 月 26 日、京都市「ホテルグランヴィア京都」にて、「J R 連合結成 30 年を次代への起点に据え、安全・安心で将来に希望が持てる J R グループを創造しよう！」をスローガンに掲げ、WE B 併用のうえ、3 年ぶりに傍聴を認める形式で第 30 回総会を開催した。



代表挨拶を行う奥村代表幹事

冒頭、幹事会を代表して奥村敬弥代表幹事（J R 東海連合・東海交通事業労組執行副委員長）が挨拶に立ち、「コロナ禍で労働組合の存在感を高める重要性を感じた。グループ労組の存在感を高め、J R 連合の運動に私たちの声を反映させていこう」と呼びかけた。



分科会別討議

来賓では、J R 連合から、荻山市朗会長、政所大祐事務局長、宮野勇馬企画局長、相良夏樹組織局長、森安祐貴産業政策局長が来場し、代表して荻山会長から連帯と激励の挨拶を受けた。

議事では、幹事会より 2021 年度活動報告と 2022 年度活動方針案を提起後、一旦休会し、分科会別討議を実施。コロナ禍における労使の取り組みや各単組の活動状況、J R 連合への要望等を中心に闊達な意見交換が行われた。終了後に再開した議事において、各分科会の代表者から討議内容の報告を受け、全体で共有化を図った。また、質疑応答では、交運共済労組より来夏に迫ったこくみん共済 coop への契約移転に伴う協力依頼の発言があった。その後、事務局による答弁の後、全議案が満場一致で採択された。



分科会の代表者による報告

なお、幹事会については、山内雄三幹事（J R 西日本連合・ジェイアール西日本ホテル開発労組）が退任し、新たに松岡弘之氏（J R 西日本連合・J R 西日本タクシー労組）を幹事に選出した。最後に、再任した奥村代表幹事の「団結ガンバロー」により J R グループ 労組連絡会の「横のつながり」を強化するとともに、この難局を加盟 90 単組・3 万人の仲間が一丸となって克服し、将来に希望が持てる J R グループを創造していく決意を固め合った。



団結ガンバロー